

案件化調査：防災分野

ベトナム危険物貯蔵地下タンクに関する調査

企業・サイト概要

- 提案企業：玉田工業株式会社・山田ビジネスコンサルティング共同企業体
- 提案企業所在地：石川県・東京都
- サイト・C/P機関：ベトナム ベトナム石油公社

ベトナムの開発課題

- 経済成長を遂げる一方で、ベトナム政府の社会経済戦略において持続可能性が最優先とされている。
- 持続可能性の観点から大気汚染や水質汚染については対処してきたが、土壌汚染はいまだに対処されていない分野である。
- 防災を含む民生環境の向上にも注力している。

中小企業の技術・製品

- SF二重殻タンク：鉄(steel)と繊維強化プラスチック(FRP)の二重殻
- <特徴>
- リークモニターにより漏洩を検知し、土壌汚染を予防する。
 - 性能劣化がなく、日本国内では外殻破損漏洩事故は1件も発生していない。
 - 独自の製造工法(スプレィアップ工法)は作業効率・材料使用効率が高く、経済的メリットが大きい。

提案されたODA事業及び期待される効果

- SF二重殻タンクのPR活動を実施し、二重殻タンクの性能と、漏洩事故による土壌汚染の危険性を啓蒙する。
- SF二重殻タンクを供与し、ベトナム国内ガソリンスタンドに設置・運営し、SF二重殻タンクの有効性を検証すると共に、その設置・運用に必要な技術を供与する。
- ベトナム石油公社関係者・技術者を日本に招致し、工場視察とSF二重殻タンク検査実習を実施し、SF二重殻タンクの優位性の認知を高めると共に、漏洩検知に必要な検査技術を供与する。

効果：土壌汚染や漏洩事故などに対処でき、持続可能性や民生環境に関する開発課題が改善できる。

日本の中小企業のビジネス展開

- ベトナム事業展開1年目は上記の活動を通じて、SF二重殻タンクの環境保全や防災の観点における有効性の認知向上を促し、土壌汚染に対する危機意識の醸成を図る。2年目以降に工場設立・現地法人設立を含む本格的な事業展開を実施し、3年目には採算ラインに乗せ、海外事業の布石を打つ。